平成24年度学術情報リテラシー教育担当者研修 グループ討議成果物 (発表日:2012/10/26会場:大阪大学)

平成24年度学術情報リテラシー担当者研修(大阪大学)9班

図書館サークル(円)

問題点

- ×ガイダンスで集中力が続かない
- *参加者、利用者が少ない
- * 学生が必要性を感じていない



情報リテラシー が役立つことに 気付かせる



情報リテラシー 教育に参加して もらう



情報リテラシー を身につけても らう

平成24年度学術情報リテラシー教育担当者研修 グループ討議成果物 (発表日:2012/10/26会場:大阪大学)

方針・展望

- ×学生に危機感を持たせる
- ×それを持たせることができるのは教員
- × 教員が図書館サービスを使うことで解決できる課題を与える

教員との連携

- × レポートや課題のテーマを教えてもらう
 - + シラバスのチェック
 - +選書や指定図書の申し込みのときに
 - + ILLの申し込み・受け渡しのときに
 - + 日々のコミュニケーションをきっかけに・・・
 - + 事務部門からも情報収集を
- × 図書館を利用する課題・演習問題を一緒に作る
 - + 新規採用教員への説明会
 - + 教授会・運営委員会等で依頼

情報リテラシー教育の手段

- ×ガイダンス
- ×レファレンス
- Libguides
- ×パスファインダー
- ×ブログ
- ×Eラーニング

(発表日:2012/10/26会場:大阪大学)

達成感が信頼を生む

図書館を使って 課題を達成する





情報リテラシー 教育への信頼

達成感 (成功体験)

情報リテラシー教育の円

図書館

図書館サービスを 利用してもらう

教員

授業理解が深まる

学生

情報リテラシーが 身に付く

平成24年度学術情報リテラシー教育担当者研修 グループ討議成果物 (発表日:2012/10/26会場:大阪大学)

図書館サークル(縁)



いい縁をつないでいきましょう